

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	福井支部	(2) 記載者氏名:	井上 泰利	会員番号:	10995	事務局整理記入欄	福井-16
分水嶺区分	W127三方ヶ岳 ~ W126行市山	(3) 山行日:	2005年	2月	22日	(4) 天候:	快晴(積雪)

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

宮本 数男	10622						
井上 泰利	10996						
田路 繁男	13085						
大和 康郎	13872						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	三方ヶ岳より分水嶺を行市山へ行く。積雪は約1m程度か。往路と同じ経路で三方ヶ岳へ帰る。												
アプローチ:	R8の新道野峠(福井と滋賀の県境)の孫平衛茶屋に駐車し、林道終点より尾根沿いに三方ヶ岳に行く。帰路は林道終点までは同じ。林道終点より尾根を下り、途中より林道に出て新道野峠に下る。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	所要 時間	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	新道野		136	7	20.7	35	34	39.2	257				6
分水嶺到達点W127	林道終点		136	8	7.1	35	34	30.7	560	1時間25分		B-4	1・6
	三方ヶ岳		136	8	54.0	35	34	18.4	606	1時間		B-4	6
W126	584m点		136	9	4.6	35	24	21.9	584	15分		B-4	3
	行市山		136	10	9.5	35	34	5.4	660	1時間40分		B-4	4・5
	605m点		136	9	33.5	35	34	17.8	605	40分		B-4	2
分水嶺離別点W127	三方ヶ岳		136	8	54.0	35	34	30.7	606	40分		B-4	
	林道終点		136	8	7.1	35	34	18.4	560	40分		B-4	6
⑨歩行終了点	新道野		135	7	20.7	35	34	39.2	257	35分		B-4	6・7
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間55分	
総所要時間												8時間15分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W126	行市山	3	真南	良好	今回は積雪約1mで直接確認できず。04/09/20の時点での記録を再掲。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1. 林道が延長されている。地形図はもっと手前で切れている。
2. 最低鞍部で休憩したが推定位置(東経136° 9' 46" 北緯35° 34' 6" 標高470m) ここより福井県側の奥麻生集落と滋賀県側の最短距離であり、昔は往来があったと考えられる。又、福井県側に長者屋敷(通称)があったとの言い伝えもある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

3. 三方ヶ岳より584m点迄福井県側は桧の植林、滋賀県側は自然林
4. 584m点より福井県側は桧の植林、滋賀県側は自然林に変わる。やがて福井県・滋賀県双方共杉植林に替わる。只、分水嶺(県境)の尾根筋は自然林が残る。
5. 標高470m位の最低鞍部より福井県側が杉植林、滋賀県側が自然林に替わる。その状態が行市山まで続く。

(10) その他の特記事項

6. 04/09/12の分水嶺調査で新道野(W129)～三方ヶ岳(W127)を実施しているので、この区間についてはそちらの詳細を参照願います。今回は未だ未踏破である、三方ヶ岳～行市山間の分水嶺踏破を目的に前回のルートの一部を利用した。
7. 三方ヶ岳～行市山間は無積雪期には自然林の藪が濃い為、積雪期の時節に実施した。本日は歩行開始直後より和カンジキを着用(内1名がスノーシュー着用)し、歩行開始した。又、当日の朝、路面凍結により福井市からの到着が遅れ、孫平衛茶屋よりの登山開始が9:30となった。よって三方ヶ岳到着が12:20、行市山到着が14:40となりヘッドランプ着用での下山も覚悟したが、孫平衛茶屋への到着が17:45と、暗くなる直前に到着することが出来た。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 本日の行市山の様子(昨年、分水嶺の刃根越～行市山間の夏道が敦賀の住人によって開かれた。但し、冬季は県道140号線の柳ヶ瀬トンネル入口付近の林道より歩く必要がある。) 滋賀県余呉町観光協会の看板が立っていた。

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



行市山山頂(滋賀県余呉町観光協会の看板が立っていた)